

牛を飼養する皆さまへ 春の時期から**吸血昆虫対策**を実施し、 **ランピースキン病**などの感染を防ぎましょう！

<ランピースキン病>

ランピースキン病ウイルスによる**牛の伝染病**。主に**蚊**、**ハエ**、**ダニ**の媒介による機械的伝播、感染した牛の移動により感染が拡大します。

●症状

全身の皮膚の結節や水腫、泌乳量の減少、発熱等の症状を呈し、**生産性に影響**を及ぼす病気です。

●これまでの国内発生状況（令和7年3月現在）

令和6年11月6日～12月26日までの間

22農場、227頭の発症（疑症牛を含む）が確認されました。

以降、現在までの発症は確認されていません。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

続報

12月19日から行われていた

**ランピースキン病ワクチンを接種した牛に由来する牛肉の
アメリカ合衆国への輸出制限は解除**されました！

<牛伝染性リンパ腫>

牛伝染性リンパ腫ウイルスによる牛の伝染病。**アブ**や**ブユ**などの**吸血昆虫**、出血を伴う処置、感染牛の乳汁などからも感染が広がります。

●症状

潜伏期間が長く、数年は症状が認められません。持続性リンパ球増多症になると、免疫機能が低下するため他の病気にかかやすくなり、**経済的損失の要因**となります。発症すると、食欲不振、消瘦、体表リンパ節の腫脹、乳量低下などが見られます。

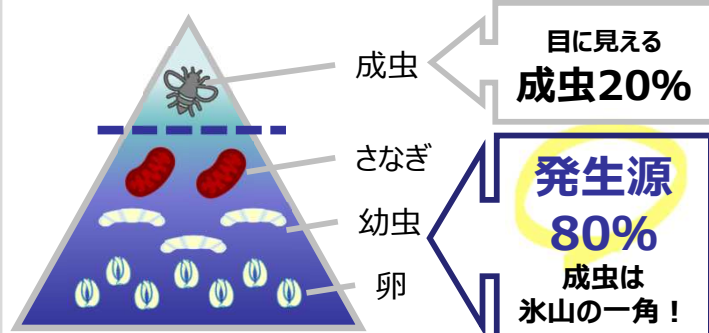
<侵入防止対策>

- ・毎日の**健康観察**（早期発見・早期連絡・隔離）
- ・**害虫の駆除**（殺虫剤散布・粘着シート活用）
- ・**清掃・消毒**（整理整頓）

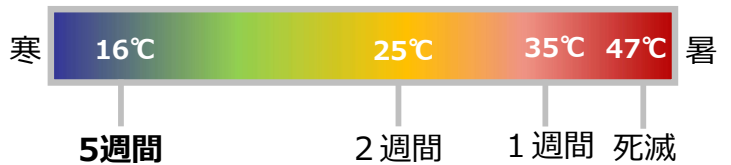
はて？ 冬季のサシバエ対策？

スタートが遅れると、ハエの数は 爆発的に増加します・・・

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



温度とサシバエが卵から成虫になるまでの
発育日数の関係



冬季は気温が低いので、**発育速度が遅い！**
幼虫対策をすれば、**殺虫剤を撒く回数も減少！**

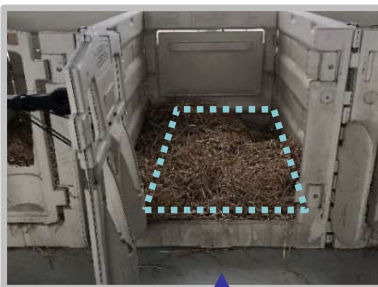
1. 幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



つなぎ牛舎は
バークリーナーへ散布！

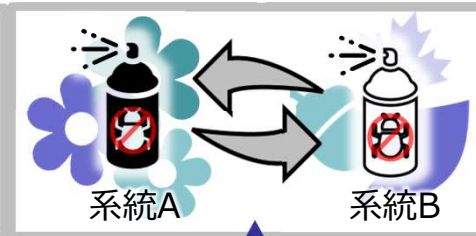
2. 成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！



地面や床から**2 m**は防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って**噴霧！**



殺虫剤は**ローテーションを！**
噴霧量が十分か確認！

3. 対策は地域ぐるみで！ 関係業者も一緒に！